

# 12月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園  
神戸YMCAちとせ幼稚園

2015年11月13日にパリで発生した連続テロ事件に対しては、米国を中心とする有志連合だけではなく、シナイ半島での旅客機墜落事件がテロであったことを確認したロシアも加わって、これまでにない規模でシリアへの空爆が行われています。

平和を考える時に、武力によって、強者が弱者を支配して平和は維持出来ると考える関係からは、支配される側の憎しみと悲しみを取り去ることは出来ません。また、その様な力によってもたらされる平和と繁栄を望んでいるのは一部の人間だけで、世界中の多くの人が望んでいるわけではないことも事実です。自分の国だけの、自分たちだけの平和という概念はあり得るはずはなく、武力によるのではない対話と和解による平和を求め続ける必要があります。

すべての創造者である神は、争いや憎しみにあふれた世界を救うために、その独り子をこの世にお遣わしになりました。そしてこの救い主によって示された生き方とメッセージは、2000年もたった現代においてもなお、私たちに訴え続けています。憎しみや争いが繰り返されるのではなく、どうすれば愛と喜びを分かち合う世界にすることが出来るか、人々は理解し赦し合うことが出来るか、そしてそのために一人ひとりは何が出来るのか、そのことを私たちは問い続け、求め続けなければなりません。

“神は、独り子を世にお遣わしになりました。  
その方によって、わたしたちが生きようになるためです。  
ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。  
わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、  
わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。  
ここに愛があります。  
愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、  
わたしたちも互いに愛し合うべきです。”

(ヨハネの手紙 : 4章9~11)

未来を担う子どもたちが、自分のことだけを考えるのではなく、世界中の仲間と共に歩んで行くことの出来る者として成長することを願い、素晴らしいクリスマスを迎えられますようにお祈りします。

年主題 『平和』をつくる

<年主題聖句> 「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」

(マタイによる福音書5章9節)

12月主題 「喜び合う」

聖句 “「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ」”

(ルカによる福音書2章14)

